サイバーセキュリティ注意喚起サービス

参考資料

アイキャット・フォー・ジェイソン

icat for JSON

重要なセキュリティ情報を毎日チェックしましょう!

https://www.ipa.go.jp/security/vuln/icat.html

利用イメージ

社員やポータルの利用者にセキュリティの啓発をしたい



協力組織のウェブサイトと連携して、IPAのサイバーセキュリティの重要なセキュリティ情報を広くかつ即時に発信するサービスです

IPAから発信する重要なセキュリティ情報

IPAでは、下記例のような直ちに対応しなければ、利用者が攻撃の被害を受ける危険が高いセキュリティ上の弱点について、『緊急対策情報』『注意喚起情報』として情報を発信しています。

発信情報例	概要
脆弱性の公表	世間で広く使われているソフトウェアに関して、影響度の高い脆弱性が公表され、直ちに対 策されたパージョンにアップデートを行わないと、攻撃を受けた際の影響が大きいケース
サイバー攻撃の発生	国内外で大規模なサイバー攻撃が確認されており、被害の拡大が懸念されるケース
ウイルスの大量発生	脆弱性を突いたウイルスが大量に発生し、脆弱性を解消する手段を講じないと被害が短時間に著しく拡大する恐れがあるようなケース

参考: IPAウェブページURL : https://www.ipa.go.jp/index.html

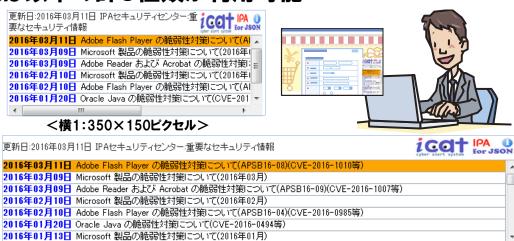
重要なセキュリティ情報 : https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html

サイバーセキュリティ注意喚起サービス icat for JSON

「icat for JSON」 機能概要

- IPAの重要なセキュリティ情報と同期した自動更新
- 直近1週間以内の情報は、オレンジの背景色で強調
- 表示方法は以下の計3種類が利用可能





<縦:190×350ピクセル>

<横2:700×150ピクセル>

ウェブサイト表示イメージ





独立行政法人**情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター**

〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目28番2号 文京グリーンコートセンターオフィス(総合受付13階)

Mail:vuln-inq@ipa.go.jp https://www.ipa.go.jp/security/